



2015年8月31日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 穂川 稔
(コード番号 4569 東証第1部)
問合せ先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電話番号 03-3525-4707

イミダフェナシンの台湾におけるライセンス契約締結について

キョーリン製薬ホールディングス株式会社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮下三朝、以下「杏林製薬」）は Synmosa Biopharma Corporation（本社：台湾 台北、社長：林智暉、以下「Synmosa 社」）と、この度、杏林製薬が創製した過活動膀胱治療剤「イミダフェナシン」（以下「本剤」）の台湾における開発、製造及び販売に関するライセンス契約を締結しました。

今回の契約締結により、杏林製薬は Synmosa 社に対し、台湾における本剤の独占的開発権、製造権及び販売権を供与することになります。

本剤はムスカリン受容体サブタイプのM3及びM1に対して選択的な拮抗作用を示す新規の抗コリン剤であり、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善します。また、本剤は膀胱選択性が高く口渇が少ない薬剤です。日本では杏林製薬と小野薬品工業株式会社が、各々「ウリトス[®]錠0.1mg、ウリトス[®]OD錠0.1mg」及び「ステーブラ[®]錠0.1mg、ステーブラ[®]OD錠0.1mg」の製品名で発売しています（錠：2007年、OD錠：2011年発売開始）。

杏林製薬は日本国内での市場浸透を図り過活動膀胱の諸症状に苦しむ患者さんの QOL 向上に貢献する一方、このたびの契約により Synmosa 社と提携し台湾でのイミダフェナシンの普及を図り、グローバルな事業展開を推進します。

なお、今回の契約締結による 2016 年 3 月期の連結業績予測に与える影響は軽微です。

以上

参考資料

◆Synmosa Biopharma Corporation について

設 立：1979 年

社 長：林智暉

売 上 高：1,476 百万 台湾ドル (2014 年度)

従 業 員：419 人 (2014 年度末日現在)

概 要：Synmosa 社は、台湾の医薬業界において多角的な展開をしています。特に、新医薬品、後発医薬品、OTC、ヘルスケア製品の創薬および研究開発、製造、販売に注力しており、台湾市場では泌尿器科領域において高いシェアを有しています。Synmosa 社は、PIC/S GMP に対応した工場を所有し、競争力のある製品（性ホルモン剤、鼻スプレー、発泡剤、MDI 製剤）の製造を行っています。Synmosa 社のこれらの高品質な製品は、台湾において患者さん及び専門医に信頼され、高く評価されています。

◆杏林製薬株式会社について

設 立：1923 年 12 月

代 表 者：代表取締役社長 宮下三朝

売 上 高：98,452 百万円 (2015 年 3 月期)

従 業 員：1,771 人 (2015 年 3 月末現在)

概 要：患者さんや医療に携わる方々から信頼され、社会に存在意義を認められる健康貢献企業を目指して、特定領域におけるプレゼンスの向上とグローバルな自社新薬の創製に取り組んでいます。営業においては呼吸器科、耳鼻科、泌尿器科を中心とするユーザーに重点化する FC（フランチャイズ・カスタマー）戦略を展開し、自社創薬においては呼吸器・泌尿器・耳鼻科を重点領域としています。

【過活動膀胱（OAB ; Overactive Bladder）とは】

蓄尿障害を示唆する症状症候群で、尿意切迫感を主症状とし、通常これに頻尿や夜間頻尿を伴い、場合によっては切迫性尿失禁を伴います。トイレの不安のために外出を控えたり、夜間の睡眠が十分取れなかったりと日々の行動が制限され、患者さんの QOL が著しく低下してしまうことが OAB の大きな問題となっています。過活動膀胱の治療には、主にムスカリン受容体に対して拮抗作用を示す抗コリン剤が有用とされています。